

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助	・その他補助	開始時期	平成26年4月1日	終期	平成29年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		新潟市漁業近代化資金利子補給金 漁業者等に融資した金融機関に対して利子補給金を交付することで、漁業者等の金利負担を軽減し、資本装備の充実と経営の近代化及び安定化を促進する。						
款・項・目		農林水産業費 水産業費 水産業振興費						
所属等		農林水産部 水産林務課 電話 025-226-1849						

年 度	26年度（1年目）	27年度（2年目）	28年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	1,324	1,440	1,666
	決算(千円)	1,128	882	1,666
補助率	0.52%	0.41%	0.41%	

目 標	漁業者の金利負担を軽減することで漁業経営を支援する。 <目標が数値でない場合の評価方法> 制度利用者の声や決算報告書などで経営状況等を把握する。		
-----	--	--	--

目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	新規及び継続貸付を行い、漁業者の金利負担の軽減を図ることにより、漁業経営に対する支援のひとつとして寄与できた。	新規及び継続貸付を行い、漁業者の金利負担の軽減を図ることにより、漁業経営に対する支援のひとつとして寄与できた。	新規及び継続貸付を行い、漁業者の金利負担の軽減を図ることにより、漁業経営に対する支援のひとつとして寄与できた。
補助事業者による情報の公表	印刷物			

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	○	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> <g～hにおける取組> 補助金の性質上数値化は難しく、今後もこれまでと同様な手法で評価する。			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
		① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止			
		①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 新潟市の水産業を支える漁業者への支援策であり、漁業経営の近代化と安定に資するものであることから、今後も制度を継続していく。			